

大特集 サライ流 京都の旅 文字が大きい 京都特大地図

SUPER PREMIUM MAGAZINE SERAI 創刊24周年記念特大号

サライ

京都 その奥へ

●大特集 訪れるたびに新たな発見がある千年の都

●大特集 京都特大地図 旅の便利帳付き

●大特集 秘仏と寺宝 秘蹟の名刺で賞美する

●大特集 京の自然派美味処 京都大学、同志社大学

●大特集 名門学舎の博物館で憩う 洛中洛外図の歩き方

●大特集 禅の教えと精進料理 拮野俊明さん曹洞宗僧侶が巻頭解説

●大特集 大人の逸品カタログ 生活を豊かにする逸品

2013年10月号 750円 毎月1日発売

Traduzione di Satoshi Toyoda
Adattamento in Italiano Top1 Communication

Una recensione di "Three for Getz" su "Lifestyle Magazine SERAI" (Tokyo)

Un jazz fatto di pathos, con una costruzione perfetta ed autentica dimostrano ancora una volta che l'Italia è un paese musicalmente all'avanguardia. I nostri lettori che ogni giorno ripongono la loro fiducia nei piccoli negozi che offrono solo prodotti di qualità con onestà e bontà, lo avevano già capito. Possiamo dire la stessa cosa anche per il settore musicale: Albore Jazz è una delle poche etichette discografiche che producono e distribuiscono solo la musica di qualità ed io attendo sempre con gioia una loro novità.

"Three For Getz" è un album dedicato alla musica di Stan Getz, realizzato da Paolo Recchia giovane sassofonista contralto nato a Fondi - piccolo paese situato tra Roma e Napoli.

Con un profumo Latin-americano, il timbro elegante e aggraziato, si sente il pathos dietro una perfetta costruzione. La musica è così matura che non ci si stanca a sentirla più e più volte.

L'Italia si distingue ancora una volta mettendo in mostra le sue forti potenzialità nel sfornare giovani talenti di così alto livello.

Naoki Hayashida - Music journalist.

今月の3枚 林田直樹 (音楽ジャーナリスト・50歳)

音楽先進国イタリアの底力を感じさせる、引き締まった構成に情感の潜むジャズ

本 当に質のいい品だけを、誇りと良心を持って提供する個人商店が信用できるのは、本誌読者の皆さんならよくご存じだろう。音楽の世界も一緒である。イタリアのジャズを制作・発信する「アルポーレ・ジャズ」という日本のレーベルもその一つ。いつも新譜を楽しみにしている。

イタリアのローマとナポリの間にある小さな町フォンデイ。そこで1980年に生まれたアルト・サクソ奏者パオロ・レッキアの「スリー・フォー・ゲッツ」は、偉大なサクソ奏者スタン・ゲッツへの敬意を示したアルバムだ。ラテン・アメリカの香りを漂わせつつ、気品ある柔らかい音色と歌心、引き締まった構成の中に込められた情感が伝わる。何度繰り返

しても聴いても飽きない、大人の音楽だ。若い世代にこれほどの人を輩出するイタリアのジャズの底力、さすが音楽の国は違う。

名 曲とは、世に出たときにすぐに受け入れられるとは限らない。後世になって真価が認められ、再発見されることが多い。固定的な名曲ばかりを演奏せず、新たな名曲を生み出すのは、現代に生きる演奏家の使命でもある。

1969年ブダペスト生まれ、ウィーン・フィルの首席チェロ奏者タマーシユ・ヴァルガ。彼がオーストリアの実力派ピアニスト、クリストファー・ヒンターブーバーと組んだ「ツェムリンスキー&モール・チェロ・ソナタ」は、その一つの表れだ。

ナチスによって迫害されたウィ

ーンの作曲家ツェムリンスキーの詩情に満ちた「チェロ・ソナタ」も素晴らしいが、白眉はモールの「アリア」(チェロ・ソナタ第1番)。ブダペスト生まれ、ウィーンに学び、イギリス人となってスイスに暮らし、1931年に没したモールは、5つのオペラや8つの交響曲を残し、楽器製作家でもあったが、その全貌はほとんど知られていない。この憂いに満ちた美しいメロディと劇的表現を聴く限り、滅びゆくロマン派の最後の輝きを感じずにはいられない。ヴァルガの洗った重厚な音色もよい。

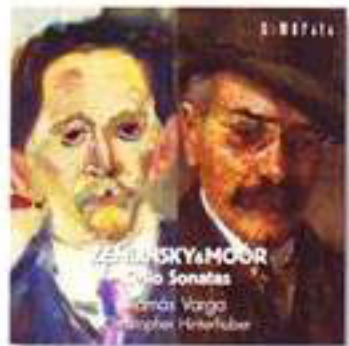
名 曲の生まれる条件はさまざまだが、作曲家と演奏家が互いに助け合い、励まし合う良好な関係を築くことは、もっとも恵みをもたらされる場合だろう。

1935年エストニア出身の作曲家アルヴォ・ペルトが、同郷の指揮者ネーメ・ヤルヴィと二人の息子(ともに指揮者)と結んでいる関係は、その好例だ。今回、次男のクリスチャン・ヤルヴィが作曲家とともに作り上げたCD「ペルト・スターバト・マートル」に、その成果を聴くことができる。

ペルトの音楽は、中世・ルネサンス音楽の影響を受け、ティンティナプリ(鈴鳴らし)様式と命名された、鐘の鳴り響くような音空間に特徴がある。「スターバト・マートル」は、厳密に処せられたキリストのもとに佇む聖母マリアの姿を描いた声楽曲。この崇高な祈りは、宗教や国家の遠いを越えて、あらゆる聴き手に心の平安を願わずにはおかないだろう。



スリー・フォー・ゲッツ / パオロ・レッキア
↑2012年録音
発売 / アルポーレ・ジャズ
☎080-1552-3900
番ALBCD021 価2500円



ツェムリンスキー&モール:チェロ・ソナタ / タマーシユ・ヴァルガ&クリストファー・ヒンターブーバー
↑2013年録音
発売 / カメラータ・トウキョウ
☎03-5790-5565
番CMCD-28286 価2940円



ペルト:スターバト・マートル / クリスチャン・ヤルヴィ
↑2009年録音
発売 / ソニークラシカル
☎03-3515-5111
番SICC-10189 価2940円

●はやしだ・なおき 1963年、埼玉県生まれ。慶應義塾大学卒業後、音楽之友社を経て独立。著書に「クラシック新定番100人100曲」他。

※番はCD番号、価は価格を表します。